

実践報告書

支部名 大野支部 氏名 大野市学校教育研究会事務部会

部門・テーマ

部門 : 実践報告部門

テーマ : 学校財務課題（現金取扱い）の適正化

課題設定の理由

きっかけ

- 学校での現金取扱いに対するリスクマネジメントを向上させたかったこと。
- 本市は令和2年12月1日付で、大野市立学校管理規則に事務職員の職務標準に関する要綱が定められ、職務標準表が掲載された。その標準表の「校務運営-学校の組織運営に関すること」であること。
※（職務標準表は、12/15付福井県版のように見直される可能性もある）
- 大野市学校事務共同実施で作成、令和2年4月1日より施行された「大野市学校財務要領」に基づき、「事務職員は、校長の命を受け学校財務をつかさどる」と位置づけられたこと。

課題への取組み

- 文部科学省委託事業 学校事務職員の研修プログラムモデル及び研修テキスト（全国公立小中学校事務職員研究会作成。以下、全事研）のケースメゾット事例集の一部を活用し、大野市教頭学校運営研究会の時間を一部（85分）いただき、教頭会と事務部会合同研修を行った（令和3年2月19日実施）。

今回活用した全事研のケースメゾットを、大野市教育委員会 教育総務課 課長補佐にも事前に手渡し、その内容に基づき、本市の学校現場で現金に関する事故や事件が起こった場合にどのように対応するとよいのか、また未然防止策や実際に起こってしまった場合の再発防止策について講演をいただいた。

その後、教頭と事務職員を混合した6つ班に分かれて、学校現場で現金を取り扱う機会を少しでも減らすにはどうしたらいいのか、などの討議を行った。

今後に向けて

反省点

- できれば長期休業中に開催したいと計画していた合同研修会が、コロナの影響によりこの時期になってしまった。そのため教頭学校運営研究会の時間を一部使わせていただいたので、研修時間が短かった。教頭先生からも時間が短かったという感想もあり、また教頭学校運営研究会の貴重な時間を奪ってしまう形になった。来年度も合同研修会を持つことができれば、長期休業中に時間をかけて開催したい。

取組のまとめ

- ・今回、班別で討議した内容は継続して検討していきたいことがたくさんあった。どのように教頭会や校長会、市教委と連携して来年度以降も検討し実現させていくか今後の課題となった。

- ・各校が、校内における現金取扱いルールを作成し遵守しようというところまで意識を向けられるとよかったが、「忙しい教員にはなかなか厳しい」という意見も出た。継続して管理職のリスクマネジメントに対する意識向上を図りたい。



- ・教頭会と合同研修を持つのは今年度で2回目となった。今回の教頭先生の感想の中にも、合同会議を何度も持ちたいという感想があった。この機会を逃さないようにしたい。